

シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

| | | | | | | | |
|-----|--------------------|-----|----------------------------------|-----|-------|----|-----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語コミュニケーション I | 学年 | 1 | 類型 | 普通科 |
| 単位数 | 4 | 教科書 | PANORAMA English Communication I | 出版社 | 大修館書店 | | |
| 副教材 | 英単語ターゲット1400 (旺文社) | | | | | | |

学習の到達目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けることができる。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

授業の概要

- ・本校では、学習の習熟度に応じて習熟度別編成を行い、わかりやすいきめ細かな授業を行います。どの講座も進度は同じですが、学習の習熟に応じ、取り扱う問題や指導方法などを工夫します。
- ・授業中は、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。
- ・1年次には、英語学習の基礎を養うことができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切に、語彙・文法の力を身に付けるために、継続的な学習を心がけましょう。
- ・英語学習を通じて、世界の多様な言語や民族、社会の事象に目を向けることができるよう、さまざまな分野の題材に触れます。
- ・生徒の段階に応じた自律的な学習を支援し、自ら学びに向かう力を育成します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|--|---|--|
| 評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 評価の対象 | 定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の観察 | 定期考査・パフォーマンステスト・授業時の観察 | 学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ループリックなど |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるものうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの | | |

年間学習計画

| 学期 | 単元 | 学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準） | 定期考査 |
|---------|--|---|--------------|
| 1 学期 | Lesson 1 Words to Live By | <ul style="list-style-type: none"> 人物についての会話や説明を理解することができる。 人物についての英文の概要や要点を理解することができる。 人物やその人の考えについてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら人物について話すことができる。 自分の余暇の行動について簡潔に書くことができる。 | 1 学期 中間考査 |
| | Lesson 2 My English Experience | <ul style="list-style-type: none"> 駅での会話やアナウンスを理解することができる。 英語体験についての英文の概要や要点を理解することができる。 お互いの英語体験についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら他の人の経験について話すことができる。 日本の発明品について簡潔に書くことができる。 | |
| | Lesson 3 Our Feline Friends | <ul style="list-style-type: none"> ペットや動物についての会話や説明を理解することができる。 ペットや動物についての英文の概要や要点を理解することができる。 ペットや動物についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながらペットや動物について話すことができる。 好きなペットについて簡潔に書くことができる。 | 1 学期 期末考査 |
| 2 学期 | Lesson 4 Work in the Future | <ul style="list-style-type: none"> 将来の職業についての会話や説明を理解することができる。 職業についての英文の概要や要点を理解することができる。 将来の職業についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら職業の変化について話すことができる。 興味のある職業について簡潔に書くことができる。 | 2 学期 中間考査 |
| | Lesson 5 My Favorite Food: Rice | <ul style="list-style-type: none"> 食べ物についての会話や説明を理解することができる。 食文化についての発表の概要や要点を理解することができる。 和食についてやり取りすることができる。 絵や図を見せながら食文化について話すことができる。 好きな食べ物とその理由について簡潔に書くことができる。 | |
| | Lesson 6 A Long Way Home | <ul style="list-style-type: none"> 実話についての会話や説明を理解することができる。 実話に基づく物語の概要や要点を理解することができる。 物語や登場人物の心情についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら物語のあらすじを話すことができる。 思い出に残っている旅について簡潔に書くことができる。 | |
| | Lesson 7 Can You Read Faces? | <ul style="list-style-type: none"> 人間の心理についての会話や講義を理解することができる。 人間の心理についての英文の概要や要点を理解することができる。 人間の感情についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら人間の表情について話すことができる。 他の教科で学んだことについて簡潔に書くことができる。 | 2 学期 期末考査 |
| 3 学期 | Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director, MIKIKO | <ul style="list-style-type: none"> 日常の行動についての会話や指示を理解することができる。 スペシャリストについての英文の概要や要点を理解することができる。 スペシャリストとその仕事についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながらスペシャリストの業績について話すことができる。 身近な人などについて簡潔に書くことができる。 | |
| | Lesson 9 Our Desire to Fly | <ul style="list-style-type: none"> 人類の発明についての会話や説明を理解することができる。 人類の飛行の歴史についての英文の概要や要点を理解することができる。 人類の飛ぶことへの興味についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら人類の飛行の歴史について話すことができる。 タイムマシンでいたいことについて簡潔に書くことができる。 | |
| | Lesson 10 Loving the Earth | <ul style="list-style-type: none"> 環境保護についての会話や説明を理解することができる。 環境保護についての発表の概要や要点を理解することができる。 環境保護についてやり取りすることができる。 絵や写真を見せながら地球環境保護についてプレゼンテーションをすことができる。 自分や身近な人が環境を守るためにしていることを簡潔に書くことができる。 | 学年末考査 |

シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

| | | | | | | | |
|-----|-----------------------------------|-----|---|-----|------|----|-----|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 論理・表現 I | 学年 | 1 | 類型 | 普通科 |
| 単位数 | 2 | 教科書 | BIG DIPPER English Logic and Expression I | 出版社 | 数研出版 | | |
| 副教材 | BIG DIPPER ワークブック、BIG DIPPER 総合英語 | | | | | | |

学習の到達目標

- (1) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりするとともに、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。
- (2) 日常的な話題や社会的な問題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、賛成・反対の立場から、意見や主張などを工夫して話して伝えあうことができる。
- (3) 日常的な話題や社会的な問題について、複数の段落からなる文章で書いて伝えることができる。

授業の概要

- ・本校では、学習の習熟度に応じて習熟度別編成を行い、分かりやすくきめ細やかな授業を行います。どの講座も進度は同じですが、学習の習熟度に応じて、取り扱う問題や指導方法などを工夫します。
- ・各単元で学んだ文法や語句を使って、自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う力を育成します。
- ・1年次には、英語学習の基礎を身に付けることができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切にし、語彙・文法の力を定着させるために、継続的な学習を心がけましょう。
- ・英語学習を通じて、世界の多様な言語や文化、社会の事象に目を向けることができるよう、多種多様な題材に触れます。
- ・授業中は話す・書く活動を中心に、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

| | ① 知識・技能 | ② 思考・判断・表現 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|---|---|
| 評価規準 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や主張を伝えあったり書いて伝えたりするために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。 ・外国語の語彙、文法、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | <p>自分の意見を、相手により良く理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見を論理の構成や展開を工夫して話して伝えあったり、書いたりする力を身に付けている。</p> | <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> |
| 評価の対象 | 定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察 | 定期考査・パフォーマンステスト・授業時の観察 | 学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ルーブリック評価など |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるものうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p> | | |

年間学習計画

| 学期 | 単 元 | 学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準） | 定期考査 |
|---------|--|---|--------------|
| 1 学期 | PART 1 Lesson 1～3 基本事項の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できる。 伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現できる。 | 1 学期 中間考査 |
| | PART 2 Lesson 1～2 | <ul style="list-style-type: none"> 中学校での既習事項を理解している。 英語で勧誘、提案、依頼をすることができる。 | |
| | PART 1 Lesson 4～5 否定文・疑問文 時制 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人について、分かりやすく的確に紹介することができる。 現在と過去を表す表現を理解している。 進行形を用いて、自分の家族の紹介ができる。 | |
| | PART 2 Lesson 3～4 | <ul style="list-style-type: none"> 相手の体調を気遣う表現を使うことができる。 | |
| 2 学期 | PART 1 Lesson 6～9 未来形・現在完了形 助動詞 | <ul style="list-style-type: none"> 未来形を用いて、休日の予定を表現できる。 現在における完了、継続、経験の意味を理解している。 助動詞の意味を理解している。 | 1 学期 期末考査 |
| | PART 2 Lesson 5～6 | <ul style="list-style-type: none"> 英語で義務、必要や期待、確信を述べることができる。 | |
| | PART 1 Lesson 10～13 文型・受け身・不定詞 | <ul style="list-style-type: none"> 5文型を使って有名人の紹介ができる。 受動態を使った表現を理解している。 | |
| | PART 2 Lesson 7～8 | <ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞・副詞的用法を用いて、クラスで自分の考えを紹介する。 英語で謝罪する、謝罪に応じることができる。 | |
| 3 学期 | PART 1 Lesson 14～15 動名詞・分詞 | <ul style="list-style-type: none"> 動名詞、不定詞の名詞的用法を用いて、自分の趣味について紹介する。 分詞の用法を理解している。 | 2 学期 中間考査 |
| | PART 2 Lesson 9 | <ul style="list-style-type: none"> 英語で感想を尋ねる、述べるができる。 | |
| | PART 1 Lesson 16～19 比較・関係詞 | <ul style="list-style-type: none"> 同等比較・倍数比較の表現を用いて、部活動の人数を紹介する。 比較の表現を理解している。 | |
| | PART 2 Lesson 10 | <ul style="list-style-type: none"> 関係詞を用いて、隣人の紹介ができる。 関係詞を用いて、クラスで自分についてのスピーチを発表する。 | |
| 3 学期 | PART 1 Lesson 20～21 仮定法・接続詞 | <ul style="list-style-type: none"> 仮定法の表現を用いて、願い事を表現できる。 接続詞の用法を理解している。 | 2 学期 期末考査 |
| | PART 2 Lesson 11～12 将来の夢 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢を述べるができる。 同情、共感、励ましの表現を使うことができる。 | |
| | PART 2 Lesson 13 送別会 | <ul style="list-style-type: none"> 1年間お世話になった人たちに、感謝の気持ちを伝えることができる。 既習事項を適切に用いながら、喜びの気持ちを表現できる。 | |
| | PART 2 Lesson 14～15 環境問題 | <ul style="list-style-type: none"> 環境問題について、グループで意見交換ができる。 社会問題について、相手の意見を尋ねたり、自分の意見を述べたりできる。 | 学年末考査 |